

かぶとむし

3歳児もも組では、かぶとむしの飼育をしています。興味津々で観察をしているうちに「触ってみたい!」と指でツンッと触るようになりました。触れたことが嬉しくて保育士に伝えたり、「触っているとこを見てて」とちょっぴり自慢げに触って見せてくれたりしました。図鑑を持ってきて、「これと一緒に!」とかぶとむしのページを見つけ、ゼリーを食べることや、たまに土を変えること、短い角を持てることを知りました。急に動くかぶとむしに驚きながらも、角を持って「おはよう」と挨拶をしたり、毎朝ゼリーが減っているか確認をし、新しいゼリーを補充したりして世話をすることを楽しんでいます。

落ちないかな?



わあ!つかまってる!



触れるよ!見てて!



落ちなくてすごいね!



角を持つとつかめるよ😊



私も持ちたい。貸して~



子どもたちは、かぶとむしもクラスの仲間として可愛がり、飼育ケースごと椅子に置いたり、声をかけたい大事にしています。最後まで世話をしていき、かぶとむしを通して命や大切に関わることを知ってほしいです。